

アジアの友

The Asia-no Tomo

4-5

APRIL-MAY

2017

「平成 28 年度外国人留学生在籍状況調査結果」から見る
外国人留学生受入れ動向

ABK カレッジ主催「第3回 穂積五一先生記念賞」



2017 年度 ABK 新入生歓迎会を開催



4月21日（火）2017年度の 新入生歓迎会を開催しました。料理の準備やパフォーマンスには主催のフロア学生や先輩在館生に加えて新入生の有志も参加。会場はおよそ230名の参加者で大盛況でした。

日本語生のピアノパフォーマンス



フロア生の作った各国料理に舌鼓をうつ参加者



運営主体のフロア生が料理の紹介

ABK 小木管理会長の挨拶



ABK の仲間で作成されたウクレレバンドの生演奏



新フロア生が熱唱



アジアの友

2017年4・5月号 第526号

目次

	データ
2	「平成28年度外国人留学生在籍状況調査結果」から見る 外国人留学生受入れ動向
	報告
12	ABK カレッジ主催「第3回 穂積五一先生記念賞」
	私の意見私の体験
14	「ありのままに生きる」 張笑 ～中国
	日本で働く！
18	アンガラ・グラディスさん（フィリピン）
	連載コラム
22	泰日工業大学 奮闘記（第23回） 「手作り“コマ大戦” パート2」 二井田弘男
23	Events & Festivals
24	知友会通信
26	MEMBERS

<表紙> フィリピン ルソン島、ターラック州にて

Photo: (特活) アジア・コミュニティ・センター 21

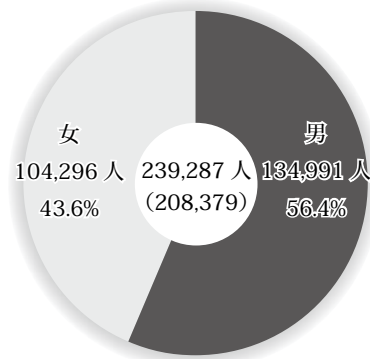
「平成 28 年度外国人留学生在籍状況調査結果」から見る 外国人留学生受入れ動向

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)が調査した平成 28 年(2016 年)度の外国人留学生在籍状況調査結果によると、日本で学ぶ留学生数は前年(2015 年)比 3 万 908 人増で、23 万 9,287 人となり、過去最高を記録した。2012 年からの 4 年間で 7 万 7,439 人増加したことになる。この伸びを支えているのは 2010 年の法改正による在留資格の変更で「留学生」として数えられるようになった日本語教育機関在籍者(日本語学校生)だ。前年比 1 万 1,848 人増で 6 万 8,165 人、この 4 年間で 4 万 2,998 人増と、全増加者の 57% を占めている。このため 2010 年以前の通り、留学生数を高等教育機関在籍者に限って見た場合、その数は 17 万 1,122 人となり、政府の「留学生 30 万人計画」が打ち出された 2008 年(12 万 3,829 人)と比較しても 4 万 7,293 人(38%)の増加に止まる。

所属学習機関別に見た場合、日本語学校卒業生の進学が多いとされる専修学校専門課程(専門学校)は、前年比 1 万 1,581 人増で 5 万 235 人と、この 4 年で 2 万 5,068 人増加している。その一方で、大学学部、大学院、短大、高等専門学校の在籍者数は計 11 万 7,801 人で前年比 7,000 人増、4 年前の 2012 年度との比較では 6,799 人増と、若干の増加に止まっている。

また、最近の流れとは異なる動きとして、

▶男女別留学生数

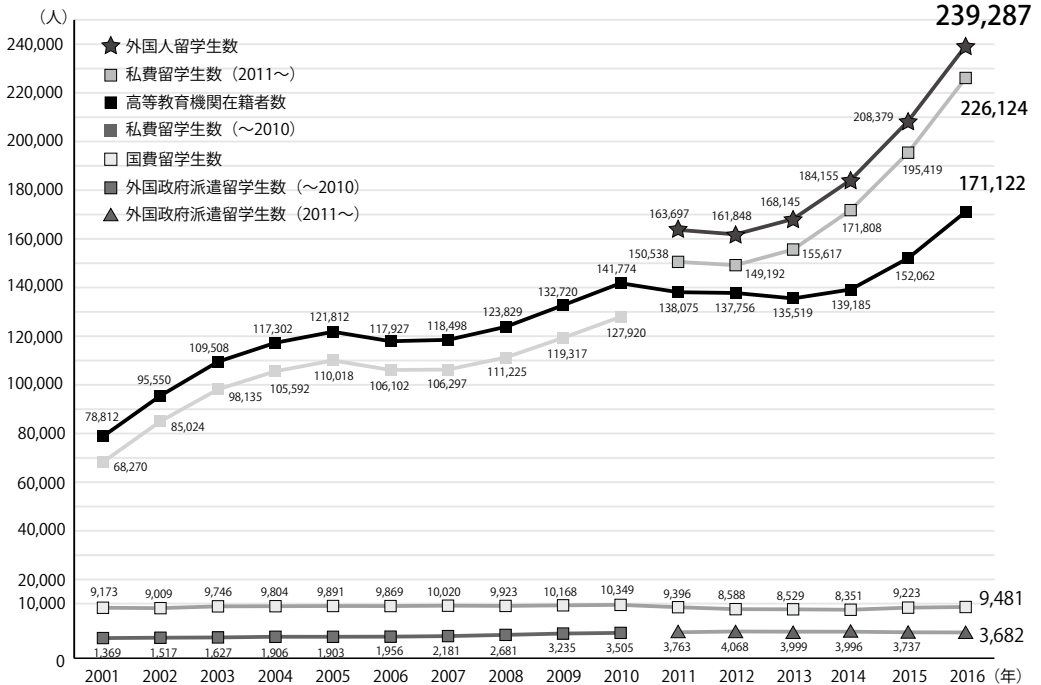


ここ数年ベトナム同様右肩上がりの増加を続けていたネパールが、日本語学習機関在籍者数において、その数を大きく減らした(P10 参照)。法定時間を超える不法就労や失踪等の問題を理由に入国審査が厳格化されたためと思われるが、近年の留学生増を支える学生たちの多くがこうした問題と背中合わせにあるのが実情だ。一方で、問題を未然に防ごうという学校側の行き過ぎた在籍管理が、人権侵害など別の問題を招くケースもあり、関係者はより注意深く対応していく必要があるだろう。

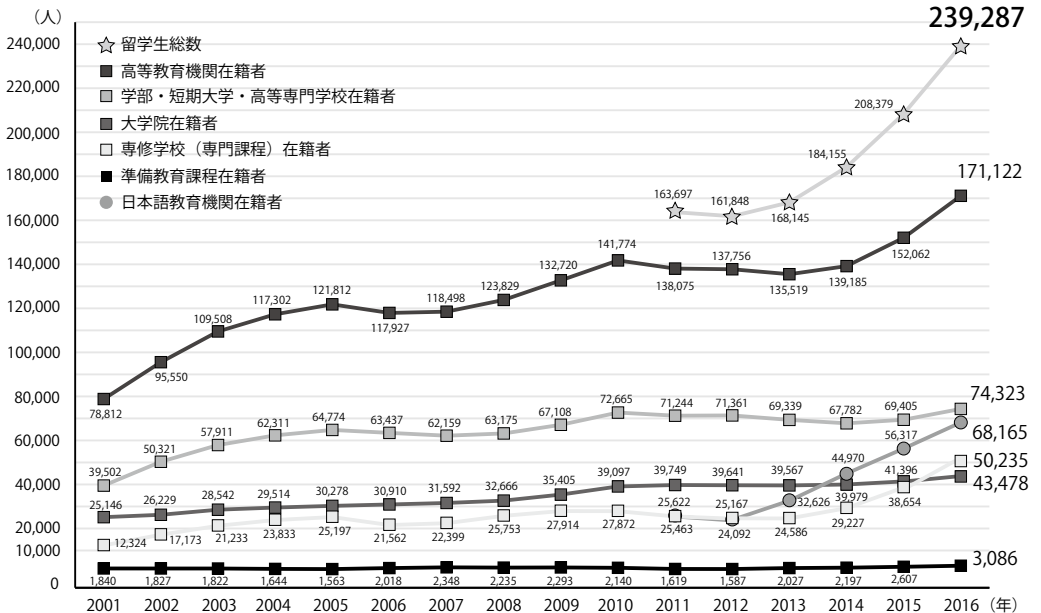
なお、法務省発表の最新統計資料によると、2016 年末現在、在留資格「留学」で日本に滞在する外国人の数は 27 万 7,331 人となり、早くも 2017 年末には留学生数 30 万人を突破する可能性が出てきている。

※ 高等教育機関とは、初等中等教育の次段階の教育課程である高等教育を提供する教育機関の総称。大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程(専門学校)等

▶ 留学生数の推移（各年5月1日現在）



▶ 所属学習機関による留学生数の推移（各年5月1日現在）

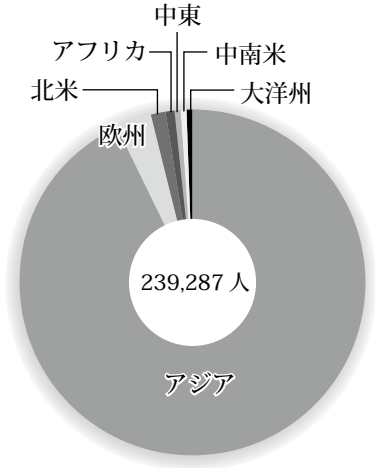


※表、グラフは一部を除き、JASSOの外国人留学生在籍状況調査結果より作成

出身地域別ではアジアが93%と圧倒的に多く、次いで欧州、北米と続く。アフリカは2014年からスタートした政府の ABE イニシアティブ（アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ「修士課程およびインターンシップ」プログラム）が増加の要因となっている。出身国（地域）別では、中国とベトナムの学生が突出して多く、この2か国で全留学生のおよそ64%を占めている。

▶ 出身地域別留学生数（2016年5月1日現在）

地域名	留学生数	構成比
アジア	222,627 人 (193,172)	93.0% (92.7)
欧州	7,986 人 (7,268)	3.3% (3.5)
北米	3,009 人 (2,778)	1.3% (1.3)
アフリカ	1,932 人 (1,530)	0.8% (0.7)
中東	1,674 人 (1,632)	0.7% (0.8)
中南米	1,390 人 (1,369)	0.6% (0.7)
大洋州	663 人 (626)	0.3% (0.3)
その他（無国籍）	6 人 (4)	0.0% (0.0)
計	239,287 人 (208,379)	100.0% (100.0)



（ ）内は 2015 年 5 月 1 日現在の数

▶ 出身国（地域）別留学生数（2016年5月1日現在）

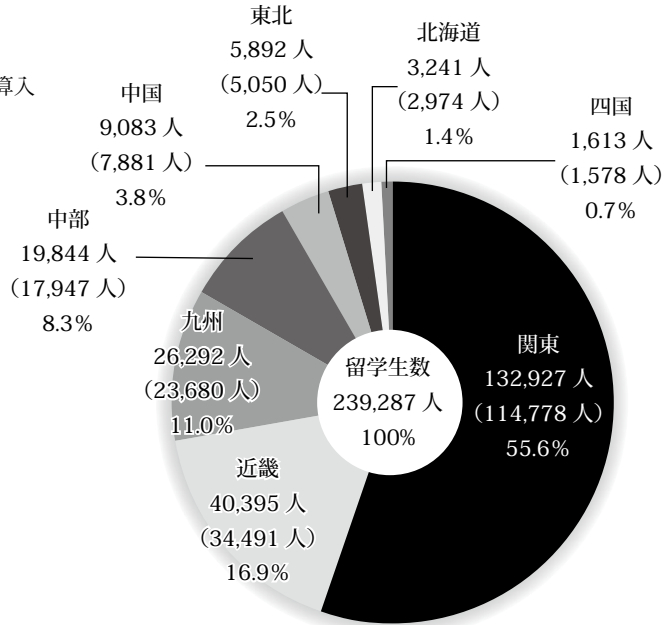
国（地域）名	留学生数（人）	構成比（%）	国（地域）名	留学生数（人）	構成比（%）
①中国	98,483 (94,111)	41.2 (45.2)	⑰ドイツ	874 (860)	0.4 (0.4)
②ベトナム	53,807 (38,882)	22.5 (18.7)	⑱ロシア	684 (692)	0.3 (0.3)
③ネパール	19,471 (16,250)	8.1 (7.8)	⑲ウズベキスタン	641 (471)	0.3 (0.3)
④韓国	15,457 (15,279)	6.5 (7.3)	⑳カンボジア	629 (509)	0.3 (0.2)
⑤台湾	8,330 (7,314)	3.5 (3.5)	㉑イタリア	593 (530)	0.2 (0.3)
⑥インドネシア	4,630 (3,600)	1.9 (1.7)	㉒英国	560 (494)	0.2 (0.2)
⑦スリランカ	3,976 (2,312)	1.7 (1.1)	㉓スウェーデン	534 (568)	0.2 (0.3)
⑧ミャンマー	3,851 (2,755)	1.6 (1.3)	㉔サウジアラビア	533 (587)	0.2 (0.3)
⑨タイ	3,842 (3,526)	1.6 (1.7)	㉕ブラジル	481 (510)	0.2 (0.2)
⑩マレーシア	2,734 (2,594)	1.1 (1.2)	㉖オーストラリア	429 (408)	0.2 (0.2)
⑪アメリカ合衆国	2,648 (2,423)	1.1 (1.2)	㉗スペイン	377 (339)	0.2 (0.2)
⑫モンゴル	2,184 (1,843)	0.9 (0.9)	㉘カナダ	361 (355)	0.2 (0.2)
⑬バングラデシュ	1,979 (1,459)	0.8 (0.7)	㉙シンガポール	353 (315)	0.1 (0.2)
⑭フィリピン	1,332 (1,028)	0.6 (0.5)	㉚エジプト	342 (284)	0.1 (0.1)
⑮フランス	1,299 (1,122)	0.5 (0.5)	その他	6,858 (6,080)	2.9 (2.9)
⑯インド	1,015 (879)	0.4 (0.4)	計	239,287 (208,379)	100.0 (100.0)

（ ）内は 2015 年 5 月 1 日現在の数

▶ 地域別留学生数

(2016 年 5 月 1 日現在)

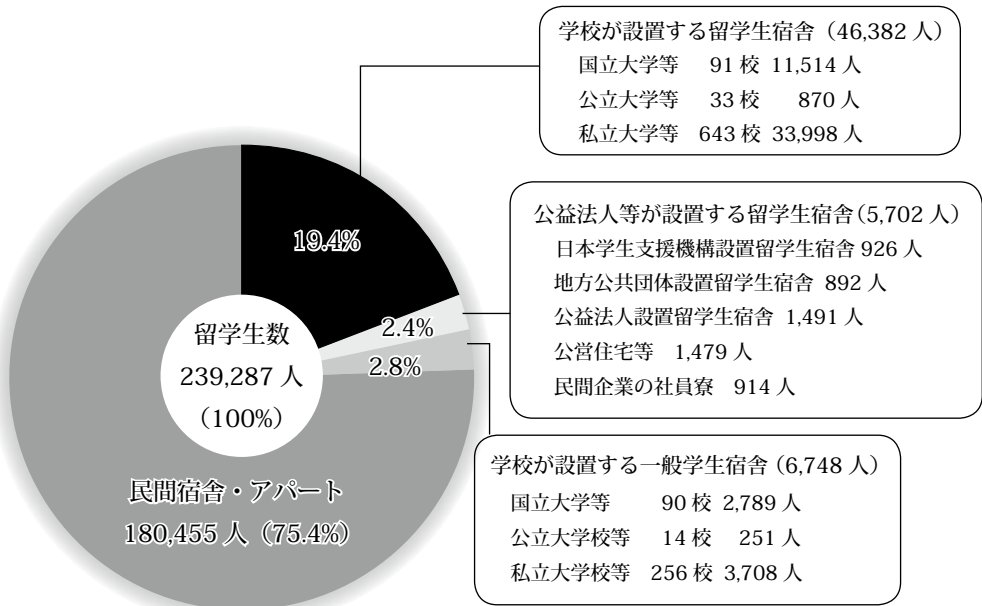
※沖縄の留学生数は九州に算入



() 内は 2015 年 5 月 1 日現在の数

▶ 留学生宿舍の状況 (2016 年 5 月 1 日現在)

大学等が設置する留学生宿舍に住む留学生数は 2014 年度比で 1 万人以上増加しているが、留学生の増加率には追いついておらず、グラフの割合はここ数年ほとんど変わっていない。



高等教育機関における留学生受入れ状況

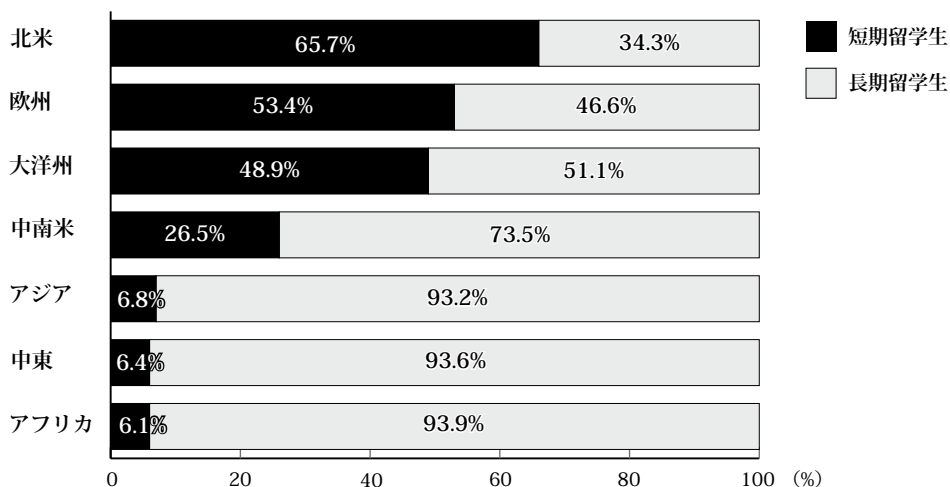
欧米諸国については、出身地域留学生に占める短期留学生の割合が高く、北米 66%、欧州 53% と、半数以上が短期留学生になっている。一方日本における留学生数が最も多いアジアについては、短期留学生の割合は 7% と低く、ほとんどが長期留学生となっている。

▶ 出身地域別高等教育機関在籍留学生数（2016年5月1日現在）

地域名	留学生数	構成比	左のうち短期留学生	
			留学生数	構成比
アジア	156,556 人 (138,930)	91.5% (91.4)	10,675 人 (9,110)	63.6% (61.6)
欧州	6,466 人 (5,804)	3.8% (3.8)	3,453 人 (3,111)	20.6% (21.0)
北米	2,742 人 (2,521)	1.6% (1.7)	1,802 人 (1,679)	10.7% (11.3)
アフリカ	1,857 人 (1,447)	1.1% (1.0)	113 人 (125)	0.7% (0.8)
中東	1,587 人 (1,520)	0.9% (1.0)	101 人 (98)	0.6% (0.7)
中南米	1,293 人 (1,257)	0.8% (0.8)	342 人 (376)	2.0% (2.5)
大洋州	618 人 (581)	0.4% (0.4)	302 人 (293)	1.8% (2.0)
その他（無国籍）	3 人 (2)	0.0% (0.0)	0 人 (1)	0.0% (0.0)
計	171,122 人 (152,062)	100.0% (100.0)	16,788 人 (14,793)	100.0% (100.0)

（ ）内は 2015 年 5 月 1 日現在の数

▶ 出身地域別高等教育機関在籍 短期・長期留学生の割合（2016年5月1日現在）



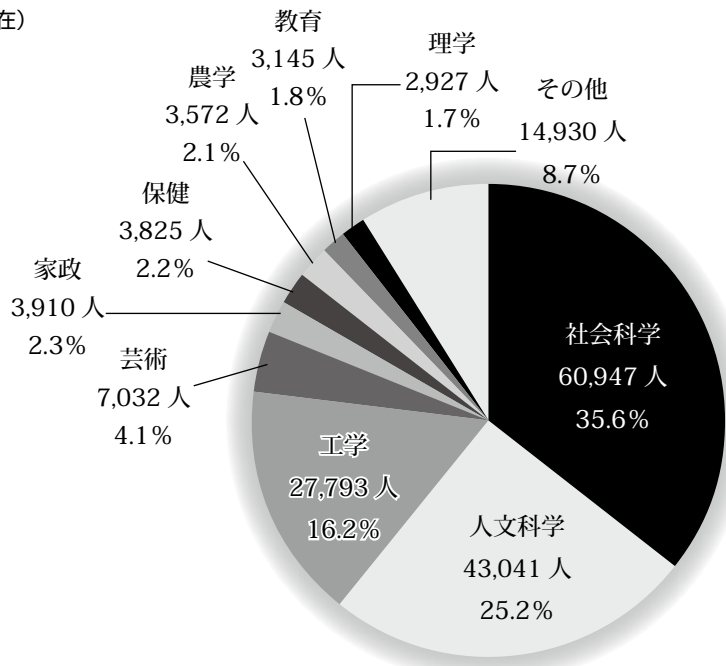
▶ 出身国（地域）別高等教育機関在籍留学生数（2016年5月1日現在）

国（地域）名	留学生数（人）	構成比（％）	国（地域）名	留学生数（人）	構成比（％）
①中国	75,262 (74,921)	44.0 (49.3)	⑪フィリピン	779 (647)	0.5 (0.4)
②ベトナム	28,579 (20,131)	16.7 (13.2)	⑫サウジアラビア	510 (551)	0.3 (0.4)
③韓国	13,571 (13,397)	7.9 (8.8)	⑬ロシア	505 (451)	0.3 (0.3)
④ネパール	13,456 (8,691)	7.9 (5.7)	⑭英国	477 (426)	0.3 (0.3)
⑤台湾	6,401 (5,610)	3.7 (3.7)	⑮カンボジア	467 (426)	0.3 (0.3)
⑥インドネシア	4,670 (2,995)	2.1 (2.0)	⑯ブラジル	463 (481)	0.3 (0.3)
⑦タイ	3,185 (2,904)	1.9 (1.9)	⑰オーストラリア	387 (365)	0.2 (0.2)
⑧マレーシア	2,581 (2,460)	1.5 (1.6)	⑱イタリア	383 (320)	0.2 (0.2)
⑨アメリカ合衆国	2,428 (2,223)	1.4 (1.5)	⑳ウズベキスタン	383 (335)	0.2 (0.2)
⑩ミャンマー	2,079 (1,652)	1.2 (1.1)	㉑アフガニスタン	339 (307)	0.2 (0.2)
⑪スリランカ	1,905 (1,200)	1.1 (0.8)	㉒エジプト	332 (280)	0.2 (0.2)
⑫モンゴル	1,495 (1,350)	0.9 (0.9)	㉓シンガポール	330 (282)	0.2 (0.2)
⑬バングラデシュ	1,402 (1,015)	0.8 (0.7)	㉔カナダ	314 (298)	0.2 (0.2)
⑭フランス	1,132 (964)	0.7 (0.6)	㉕スウェーデン	307 (280)	0.2 (0.2)
⑮インド	880 (773)	0.5 (0.5)	その他	6,284 (5,523)	3.7 (3.6)
⑯ドイツ	836 (804)	0.5 (0.5)	計	171,122 (152,062)	100.0 (100.0)

（ ）内は 2015 年 5 月 1 日現在の数

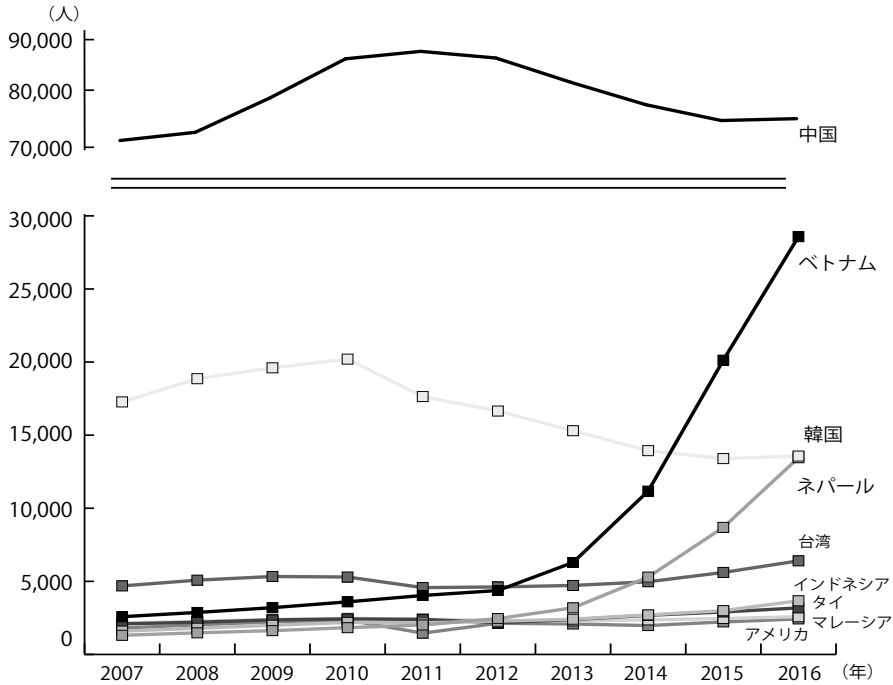
▶ 専攻分野別高等教育機関在籍留学生数

（2016年5月1日現在）



▶ 高等教育機関在籍留学生数上位国の推移 (2016年5月1日現在)

震災のあった2011年を境に減少が続けていた1位中国がわずかに上昇したのをはじめ、上位10か国(地域)全てが前年比増となった。ベトナムはこの10年で留学生数を10倍以上に増やしているが、中国との差はまだかなり大きい。同様に増加率の高いネパールは韓国にほぼ並んだが、日本語教育機関在籍者数(P10)については減少したため、2017年度はその影響が予想される。



	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
中国	71,277	72,766	79,082	86,173	87,533	86,324	81,884	77,792	74,921	75,262
ベトナム	2,582	2,873	3,199	3,597	4,033	4,373	6,290	11,174	20,131	28,579
韓国	17,274	18,862	19,605	20,202	17,640	16,651	15,304	13,940	13,397	13,571
ネパール	1,309	1,476	1,628	1,829	2,016	2,451	3,188	5,291	8,691	13,456
台湾	4,686	5,082	5,332	5,297	4,571	4,617	4,719	4,971	5,610	6,401
インドネシア	1,596	1,791	1,996	2,190	2,162	2,276	2,410	2,705	2,995	3,670
タイ	2,090	2,203	2,360	2,429	2,396	2,167	2,383	2,676	2,904	3,185
マレーシア	2,146	2,271	2,395	2,465	2,417	2,319	2,293	2,361	2,460	2,581
アメリカ	1,805	2,024	2,230	2,348	1,456	2,133	2,083	1,975	2,223	2,428
ミャンマー	849	922	1,012	1,093	1,118	1,151	1,193	1,280	1,652	2,079

※各年5月1日現在。単位(人)

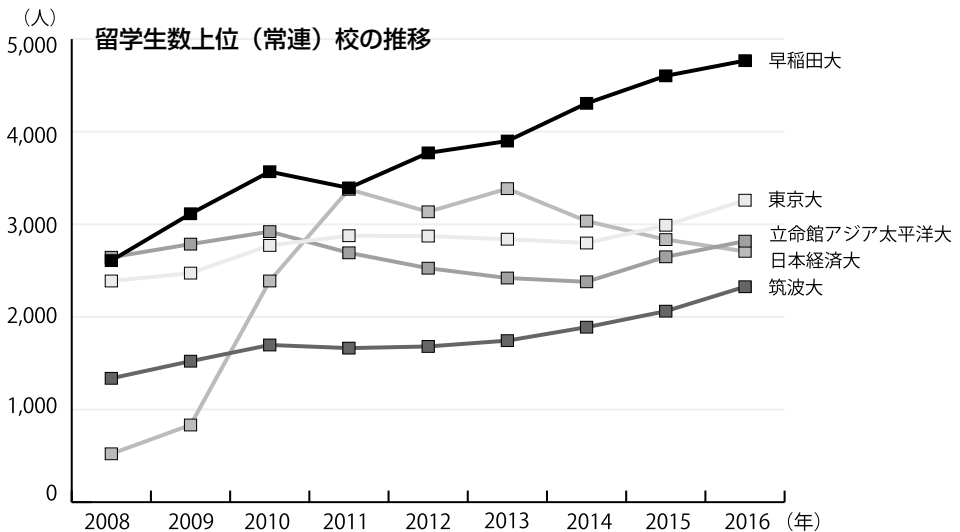
▶ 外国人留学生受入数の多い大学 (2016年5月1日現在)

8年連続トップの早稲田大学はこの10年で留学生数がほぼ倍になっており、2位以下の大学との差を広げている。3位の東京福祉大学は留学生日本語別科の在籍留学生増加等により、一気にトップ3入りした。

学校名	留学生数	学校名	留学生数
①早稲田大学	4,767人 (9%)	⑪城西国際大学	1,265人 (20%)
②東京大学	3,260人 (12%)	⑫東京工業大学	1,239人 (18%)
③東京福祉大学	3,000人 (50%)	⑬日本ウェルネススポーツ大学	1,200人 (75%)
④立命館アジア太平洋大学	2,818人 (49%)	⑭神戸大学	1,196人 (7%)
⑤日本経済大学	2,708人 (57%)	⑮日本大学	1,192人 (2%)
⑥筑波大学	2,326人 (14%)	⑯広島大学	1,190人 (8%)
⑦大阪大学	2,184人 (9%)	⑰上智大学	1,183人 (9%)
⑧九州大学	2,089人 (11%)	⑱大阪産業大学	1,113人 (13%)
⑨京都大学	2,009人 (9%)	⑲拓殖大学	1,069人 (11%)
⑩東北大学	1,941人 (11%)	⑳横浜国立大学	828人 (8%)
⑪立命館大学	1,860人 (8%)	㉑関西大学	828人 (3%)
⑫北海道大学	1,735人 (10%)	㉒東海大学	794人 (3%)
⑬名古屋大学	1,672人 (10%)	㉓法政大学	794人 (3%)
⑭慶應義塾大学	1,518人 (5%)	㉔千葉大学	787人 (5%)
⑮同志社大学	1,421人 (5%)	㉕中央大学	787人 (3%)
⑯明治大学	1,294人 (4%)		

※留学生数は留学生別科等を含んだ数。

() 内は各大学公開情報等から編集部が算出した在籍学生数に占める留学生のおよその割合。



日本語教育機関における留学生受入れ状況

日本語教育機関（日本語学校）在籍留学生数についてはベトナムが中国を抜いて1位に。一方で2011年頃から右肩上がり伸びていたネパールが大幅に減少した。法定時間（週28時間）を超える不法就労や失踪、不法残留等の問題を背景に在留資格認定証明書の交付率が大幅に下がったことが原因と思われる。代わりに伸びているのが同じ南アジアのスリランカで、2012年度の175人から、昨年度は2,071人に、特に2014年からはほぼ倍のペースで増加しており、わずかだが台湾を上回った。また、民主化への道を辿るミャンマーも、2014年の655人から2年間で1,000人以上増加。今年は台湾、韓国を抜き去ると予想される。

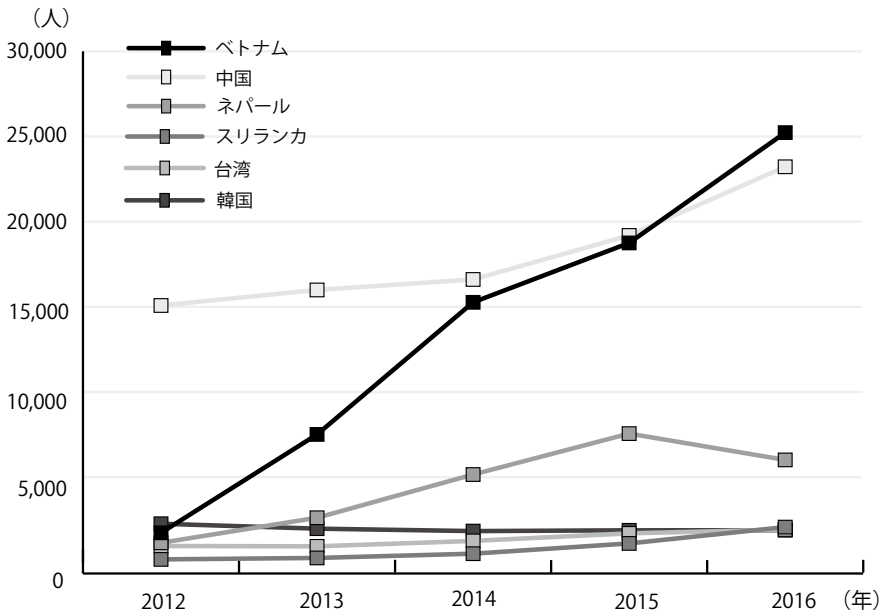
▶ 出身地域別日本語教育機関在籍留学生数（2016年5月現在）

地域名	留学生数（人）	構成比（%）	前年比（人）
アジア	66,071	96.9	11,829
欧州	1,520	2.2	56
北米	267	0.4	10
中南米	97	0.1	▲ 15
中東	87	0.1	▲ 25
アフリカ	75	0.1	▲ 8
大洋州	45	0.1	0
その他（無国籍）	3	0.0	1
計	68,165	100.0	11,848

▶ 出身国（地域）別日本語教育機関在籍留学生数（2016年5月現在）

国・地域	留学生数（人）	構成比（%）	前年比（人）	出身国別留学生に占める割合
ベトナム	25,228	37.0	6,477	47%
中国	23,221	34.1	4,031	24%
ネパール	6,015	8.8	▲ 1,544	31%
スリランカ	2,071	3.0	959	52%
台湾	1,929	2.8	225	23%
韓国	1,886	2.8	4	12%
ミャンマー	1,772	2.6	669	46%
インドネシア	960	1.4	355	21%
モンゴル	689	1.0	196	32%
タイ	657	1.0	35	17%
その他	3,737	5.5	441	—
計	68,165	100.0	11,848	—

▶ 日本語教育機関在籍留学生数上位国（地域）の推移（各年5月1日現在）



▶ 日本語教育機関卒業生の進学先と進学率

一般財団法人日本語教育振興協会が調査した「2015年度の日本語教育機関（日本語学校）卒業生の進学先と進学率」によると、全体では専修学校専門課程（専門学校）への進学がおよそ58.7%と圧倒的に多く、次に大学（28.2%）、大学院（10.5%）と続く。ただし中国の学生については、大学進学者（40%）が専門学校進学者（37%）を上回っており、大学院進学者（22%）も多い。また韓国、台湾、タイといったところは進学率が5割を下回っており、日本語学校入学の目的が、就職や日本生活体験など、多様化してきているものと思われる。

区分	大学院 (人)	大学 (人)	短期大学 (人)	高等 専門学校 (人)	専修学校 専門課程 (人)	各種学校 (人)	計 (人)	進学率 (%)	卒業者数 (人)
中国	2,094	3,851	63	0	3,619	87	9,714	82.5	11,778
ベトナム	59	1,162	92	3	4,599	119	6,034	84.5	7,143
ネパール	25	567	13	0	2,735	68	3,408	93.2	3,655
台湾	68	142	4	0	408	5	627	42.9	1,462
韓国	24	156	6	0	367	8	561	45.5	1,232
スリランカ	11	84	13	0	480	3	591	86.3	685
ミャンマー	8	55	4	0	327	2	396	81.5	486
タイ	23	21	0	7	82	2	135	37.0	365
インドネシア	12	52	5	14	119	2	204	56.7	360
モンゴル	20	51	4	14	89	0	178	56.9	313
その他	49	261	4	25	480	18	837	43.3	1,934
合計	2,393	6,402	208	63	13,305	314	22,685	77.1	29,413

一般財団法人日本語教育振興協会調査データより

ABK 学館日本語学校 (ABK カレッジ) 主催 第3回 穂積五一先生記念賞



受賞者のみなさんと佃校長

ABK カレッジでは、第3回目となる作文コンテスト「穂積五一先生記念賞」を実施しました。今回の応募は12名で、金賞1名、銀賞4名という結果でした。みなさん、難しいテーマにもかかわらず、一生懸命作文を書いてくださいました。ここに金賞を受賞したエーンさんの作文をご紹介します。

<第3回目の作文テーマ>

アジア学生文化協会を作った穂積五一先生が、1969年に書いた文章があります。その文章「三つの柱」には、次のような内容の部分があります。

「私は、五つ六つの頃から、一人でよく空を見ることがあった。田舎の底なしに澄んだ空を見ていると、いつかその中に吸い込まれて我を忘れてしまい、宇宙の無限と神秘にうたれるのである。そして、その宇宙のことをわけもなく考え続け、おしまい、この自分は一体何だろう、死んだらどうなるのだろう、と次々思いめぐらしたものである。

そして小学校の上級の頃は、折角生まれてきたのだから、この世にいる間に、何か一ついい仕事をしたい、生き甲斐のある生き方をしたい、たとえ名前は出なくとも、また、どんな小さいことでも、人類の歴史に脈々とのこるような仕事をしたい、と無心に考えるようになっていた。」

この文章の中には「何か一ついい仕事をしたい、生き甲斐のある生き方をしたい」という言葉があります。あなたにとっての「いい仕事」、「生き甲斐のある生き方」とは何ですか。あなたの考えを教えてください。

第3回 穂積五一先生記念賞 金賞作文

MS. ENKAPUNPONG PATCHAREEPORN (エーン) A3クラス(タイ)

「生き甲斐のある生き方」という言葉が、穂積五一先生の「内観録」にあります。この言葉を聞いた時、自分自身、「どうして人間は生まれてくるのか」と自問自答しました。

私が気づいたのは、他の人に良いことをするために生まれたのであって、人から良いことをしてもらうために生まれたのではないということです。これこそが、私にとっての「生き甲斐のある生き方」という意味だと思い当たりました。

私が生まれた町は、タイのチャイナタウンと呼ばれる所です。この町ではタイと中国の伝統や文化が交じり合っており、特に、「恩返し」や「孝」という考え方が強いと思います。例えば、この地域では菜食祭りというお祭りがあります。このお祭りでは10日間精進をすることが求められていますが、それは動物を困らせないようにするためです。そして、神社などに集まり、野菜の料理を作り、困っている人のために配ったりします。このようなことを私は小さいときから経験してきたので、周りの人を助けてあげることが普通のことだと思うようになってきました。そして、今、穂積先生の言葉を知り、もっと良い社会を作るためには、小さな目標でも人のために尽くすことが必要なのではないかと思うようになりました。

私が日本に留学する前に抱いていた夢は、日本のお菓子のお店を私の町に

開くことです。

お店を開けば失業者を雇用することができます。一人の失業者を救うことができれば、その人の家族を含めて二人以上を救うことができますと思います。そして、二人の失業者を雇用できれば、その数は倍以上になって行きます。そして、このような考えを子供達に教育をし、もっと広めていけば、素晴らしい未来になると思うのです。

人間の生命は長いようだけれども短いものです。私は穂積先生が言われるように、社会に一つでも役に立つことを返してあげたいと思います。生きている間にそのことが評価されなくても、死んだ後にそのことが残っていけばよいと考えています。このように、人のために何かをするという明らかな目標を持つことによって、自分の生きる指針が生まれ、これこそが私にとっての「生き甲斐ある生き方」だと考えています。



エーンさん

ありのままに生きる

張 笑 Ms. ZHANG Xiao ～中国（河北省）

東京大学大学院学際情報学府社会情報学専攻（博士課程）



わたしの研究

私の研究テーマは中国のソーシャル・メディアネットワークにおけるサイエンス・コミュニケーションの遺伝子組み換えに関することです。

遺伝子組み換えというと、科学的に論争の多いテーマで、世界中で議論されているわけですが、今はTwitterのようなソーシャル・メディアがど

んどん発展して、そこで科学者とジャーナリスト、民衆が様々な討論を繰り広げています。特に欧米の科学者は積極的にソーシャル・メディアを使って、自分の研究を民衆に伝えています。その影響はとて大きくて、中国でも遺伝

子組み換えに関するポリシーを変えてしまったほどです。それだけソーシャル・メディアは重要な役割を果たしているわけですが、まだまだ世界に比べて中国のその発展は遅



モルジブのビーチで

いと思っています。

そこで私の研究は、中国の今のサイエンス・コミュニケーションの概念、モデルはどういうものか、どこへ向かって進んでいるのか、実際に科学者と民衆はネット上でどのようにサイエンス・コ

ミュニケーションを行っているのか、といったことを研究して、新しい概念やモデルを提案したいと思っています。とても難しいテーマで、時には途方にくれてしまうこ

ともあるのですが、中国は特殊性があり、必ず面白い研究になるのではないかなと思っています。

“留学”ビザではなかった来日

私の来日は留学生としてでは

なく、「家族」としてでした。私は中国伝媒大学大学院（修士課程）を卒業してすぐ結婚をしました。そして、2010年11月、国費留学生として日本に留学していた夫の元を訪れたんです。私はもともと英語が得意で、アメリカに留



伏見稲荷大社にて



ABK 秋祭り*で中国の仲間たちと

学したかったのですが、恋の力でちょっと方向が変わってしまった、という感じですね(笑)。

来日して初めの頃は、主婦として夫を支えつつ、日本語を学び、アルバイトをして毎日を過ごしました。アニメでしか知らなかった日本の生活は、新婚だったこともあり、とても新鮮でした。

そして1年が過ぎた頃から就職のチャンスを探したのですが、日本の学校を卒業していないためなかなか良い就職先は見つからず、それなら日本で大学に進学しようと思ったんです。そして来日から2年後の2012年、まずは研究生になり、その半年後試験に合格して東大の大学院生になりました。

その大学院生活で感じるのは、中国と日本とではいろいろなことが違うということです。まず、日本の先生はあま

り面倒を見てくれませんか、何でも自分で決めなければなりません。研究テーマも変えたければいつでも変えられる。だけど全て自分で考えるということには、なかなか慣れませんでした。研究室の人間関係は希薄で、先輩には中国人もいましたが、私が入った時はみなさん研究室から離れていましたから、当初は相談できる人もいませんでした。

中国の大学院では、先生は学生に課題を出しますし、自分が忙しい時は他の先生に学生の面倒をお願いしてくれますから、わからないことがあればすぐに聞けます。また、研究室の仲間とは一緒にカラオケに行ったり食事に行ったりと、先輩後輩の垣根なく仲良くしていました。日本ではそういう暖かさは感じられませんでした。

どちらがいいか、それは人によって様々かもしれませ

んが、日本の環境はネガティブな影響が多いのではないのでしょうか。とても自由である反面、行き詰まってしまった時、先生との間に距離があり相談しづらい。博士課程では、そもそも自分で研究する能力を持つべきだと思いますが、やはり研究の方向性を一緒に考えてくれるなど、最初はしっかり指導をしてくれた方が学生は安心できます。それに、生活面や精神面は研究の基礎となりますから、そういった「心」の面倒を少しでも見てもらいたいなあというのが本音です。

私は2014年、東大の、あるプログラムに合格して、そのプログラムの一環でカリフォルニアの大学に半年間留学しました。そこで感じたことは、アメリカのほうが日本よりもっと自由だということ。ただし、同じ自由でもアメリカの環境は日本とはずいぶん印

(※) アジア文化会館 (ABK) が毎年秋に行う留学生たちによる地域住民の方々との交流イベント



中国の大人気お見合い番組「縁来非誠勿擾」の日本スペシャルに出演！

象の異なるものでした。まず先生方はとても親しみやすく、相談しやすい。日本では15分しかできない相談も、アメリカでは2時間大丈夫という感じ。中国や日本などのアジアとは異なる価値観がそこにはあったわけですが、私はそれが新鮮で居心地が良かったです。

実は私たちの先生も1年間アメリカに行っていて昨年帰国されたのですが、その後は学生に「なんでも聞いてほしい」という姿勢を示してくれています。だから「今年は変わるかもしれない」と、期待しているんです。

日本のグローバル化は進んでいますか？

日本で生活していて感じるのは、国際化が遅れているということ。日本人の性格も含めて、様々な面で保守的な感

じがします。その点、中国の方が良いとは言えないのですが、中国人は日本人よりも変化を求めているように思います。日本人は集団を重んじて、前例や経験にこだわって…創造性の部分はちょっとどうかな？と思うことがありますね。

そう話すと、日本での留学生生活にネガティブなイメージしかないように思われそうですが、日本は留学生にとって、とても生活しやすい国だと思います。学費は欧米より安いし、生活費も安い。食べ物も美味しいし、交通も便利です。留学生向けの交流会など、様々なイベントが常に開かれていますし、海外への留学プログラムも利用できる。少し自分が積極的になれば、彩り豊かな留学生活を送れます。

また、日本人の良いところは環境と秩序を自ら守ろうとしているところですね。私は

6年間日本にいて、周囲の目から見たら無意識に変わっている、日本人ぽくなったと思います。

特に他人への配慮ということについては、それまでと大きく変わったと思います。例えば外出時の身なりについてもそうです。中国では化粧や服装を気にせず外出する女性はけっこういます。でも人前に入る時、きちんとした身だしなみを心がけるということは、他人への配慮、他人を敬う姿勢にも繋がるわけですね。また、綺麗になることは自分の自信そのものにもなると思います。そんなことも日本で学びました。

自分の価値を生かして社会に貢献することと成功の定義

日本で学ぶ留学生には成功の定義を広く考えて欲しいと思っています。社会的地位と



ウクレレバンド "Mockingjay" in ABK

所属する Toastmasters international の
Sunrise クラブで英語スピーチ



収入、キャリアがあることは狭い定義では成功といえますが、本当に大切なことは自分の価値を見つけて、それを生かして楽しく社会に貢献できる人間になることではないかと思うんです。そしてそこに幸せを感じられれば、それが人生における成功なのだと思います。

まだ経験の少ない若い時の海外生活で、孤独感や戸惑いを感じ、外から入ってくる様々な意見に時には自分を見失ってしまうことがあるかもしれません。そんな時は、自分はなぜ今日本にいるのか、これからどこに行こうとしているのか、ということをもう一度考えてください。そして、世界を見て生きて欲しいと思います。

また、勉強だけではなく、いろんなことに挑戦して、健全な人格を作ってください。私も最近ウクレレ演奏や、英

語スピーチなどに

挑戦していますが、小さなことでも新しいことが出来るようになるって素晴らしい。人生ではそんな気持ちを持ち続けることが大切なんだと思います。

私は大学を卒業したら、日本を出て、どこか他の国で仕事をしたいと思っています。人生はいろいろな所を巡るものだと思うんですね。世界にはいろいろな人がいろいろな価値観を持って暮らしています。どこの国でも住んでみないと学べないことがあるわけで、どこに行っても素晴らしい経験になるのではないのでしょうか。

ありのままに生きる

私はたまたま日本に来ることになり、ここで自立し、成熟し、大人になって、自分

のことがもっとわかるようになりました。日本に来たのは偶然ではなく、運命でしょうか。そして今は、中国と日本、さらにはアジアとの関係のことも考えられるようになり、もっと世界を見てみたいという気持ちが高まっています。

実は昨年、私は離婚をしました。それはとてもショッキングな出来事で、立ち直るまで、想像以上に時間がかかりました。でもこれこそ人生であり成長の道なんだと思います。そしてそんな「失敗」の経験も、隠さずみんなにシェアをすれば必ず誰かの役に立つはずです。

私はありのままに生きる。そして私と出会った人々が、私と出会えて良かったと思えるような人になること。それが私の人生の目標です。

日本で働く！

アンガラ・グラディスさん ～フィリピン

Ms. ANGALA Gladys ~ Philippines

特定非営利活動法人アジア・コミュニティ・センター 21

アソシエート・プログラム・オフィサー

フィリピン大学3年時の2007年、東京大学のAbroad in Komaba (AIKOM) プログラムに参加のため初来日。日本語や日本文化・社会を学びながら1年間日本で過ごす。帰国して大学を卒業後、フィリピン・バラワン島のリゾートホテルで日本語コーディネーター、マニラの日系企業勤務を経験。2010年、東京大学大学院情報学環・学際情報学府ITASIA（修士課程）に入学のため再来日。2012年、同大学院卒業後、ACC21（東京都文京区）に就職。現在事務所でただ1人の外国人スタッフ。趣味はアニメ観賞とゲーム。



—— 現在はどんな業務を担当していますか。

ACC21は公益信託アジア・コミュニティ・トラスト（ACT）の事務局としてアジア各国のNGOに資金助成を行っているのですが、私はアソシエート・プログラム・オフィサーとしてカンボジア事業とフィリピン事業を担当しており、毎年現地を訪問して、活動の状況などを視察、報告しています。また、国内ではアジアからの留学生をNPOがインターンとして受入れるためのプログラムの助成事業を担当していて、学生とNPOのマッチン

グや報告会の企画・開催などを行っています。そのほか翻訳など、小さな団体なので様々なことをやっています。

—— 就職活動はどのようにしましたか。

実は大学院卒業後は帰国するつもりだったので、日本での就活はまったくしていませんでした。周りに、日本で就職して3年くらいで辞めていく元留学生が大勢いましたから、日本での就職には良いイメージを持っていませんでした。残業が多い、人間関係が厳しい、差別があるかもしれない…。そんなつ

らい思いをしてまで日本で働きたいとは思ってなかったんです。

—— ではなぜ ACC21 に就職をしたのでしょうか。

大学院卒業間近の8月に、ACC21 が主催する東日本大震災の被災地ボランティア派遣プログラムに参加したのがACC21を知ったきっかけでした。フィリピンも自然災害が多く、私も実家が台風の被害に遭うなどのつらい経験をしていたので、こうした活動にはとても興味があったんですね。実際現地に行って貴重な体験ができたのですが、ちょうどその時ACC21がスタッフの募集をしていて、「困っている人の助けになる仕事がしたい。ここでなら働いてみたい」という気持ちになったんです。そして応募をしてみたら、本当に採用していただいて…。

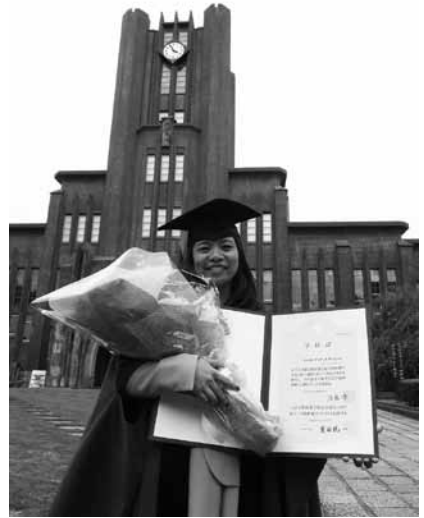
—— 応募の際、給与などの条件は気にしましたか。

深く考えることはなかったですね。実際、給与は学生時代にもらっていた奨学金より高かったんで、それで生活は十分大丈夫と思いました。

—— この仕事に就いて良かったと感じるのはどんな時でしょう。

まずいろいろな国の貧困の状況を学べるということですね。私は毎年、現地に行っていますが、母国でも通常なら行けないような場所に行けて、そこに暮らす住民の生活を知ることがすごく勉強になっています。人々がど

東京大学大学院の卒業式で



んなふうに苦しい生活をしているのか、実際自分の目で見ること、自分の仕事ができるの、やりに役立つかを知ることができるのは、やりがいにつながりますし、もっとその人たちの状況を日本人に知ってもらいたい、そのためにがんばろうという気持ちになれます。

また、支援の成果で地域の生活が年々良くなっていっていると感じられた時や、実際に受益者から感謝の言葉を言われた時は、この仕事をやっていて本当に良かったと感じます。

—— 元留学生として職場で活躍できていると感じるのはどのような時ですか。

一番は英語力に関してですね。スタッフはみなさん英語が達者なのですが、たまにネイティブが聞くと違和感がある表現は出てきますから、その部分の修正提案ができるというのが強みです。

また、事業には留学生を対象としたプログ



ACTのモニタリングで村長へのヒアリング（フィリピン）

ラムもありますから、彼らと年齢の近い外国人の視点で、意見を言うことができます。

そのほか、フィリピンの事業について、現地の運営方法にスタッフが疑問を感じた時など、フィリピン人の立場で現地の事情を説明をすることができます。

それから、これは元留学生だからというわけではありませんが、若い世代として、SNSなどを使った今時の広報の仕方などを提案できるというのも強みだと思っています。

——では、苦労しているのはどのような部分でしょう。

日本語ですね。英語から日本語の翻訳については、どうしても自然な文章にならず、修正されることが多いです。おそらくは頭の中で文章を作る時に英語で考えてしまうのが原因だと思いますが、そこは未だに苦労しています。

あとは電話の応対です。顔の見えない相手にどう表現するか、説明するかという部分で、うまく日本語が出ず戸惑うことがまだあります。

また、小さい団体ですから、どうしても一人が平行していくつかの仕事を進めなければならない時があり、焦ってしまう。頭の回転を速くしないと追いつかないというプレッシャーはありますね。

—— フィリピンの職場ではあまり焦ることはありませんか。

フィリピン人は時間に関してあまり厳しくないと言いますか、プレッシャーをあまり感じない国民性なので（笑）、同じような条件でもそれほど焦ることはないと思います。日本ではいつも焦っていますから、1年中忙しいと感じています。

—— ほかにフィリピン人と日本人の性格の違いは感じますか。

一番違うのは本音と建前の部分ですね。フィリピン人はいつも本音で、初対面の人にも冗談を言えますし、プライベートなこともオープンに話します。ですが、相手が日本人だとなかなかそれはできません。この人は私をどう見ているのかなと、いつもちょっと警戒してしまうところがありますね。

—— では日本での生活面でストレスに感じていることはありますか。

仕事以外は基本的にフィリピン人の友達と過ごす時間が多いので、日常生活でストレスを感じることはあまりありません。逆に日本語が出来て顔も外国人っぽくないので、外国人として扱ってもらえない、本来外国人なら

受けられるサービスも言わないと受けられないというのが最近不便というか、ストレスだったりします（笑）。

また、フィリピン人は普段声が大きくて騒がしい面があるので、日本に来たばかりの彼らと外で話していると、こちらが恥ずかしくなってしまうことがあります。私は日本にいて、日本人のように振る舞う癖がついてしまっているわけですが、それはある意味自分らしさを失ってしまったということで、もっと自由に振る舞えばいいのになあと少しだけ自己嫌悪に陥ることはありますね。

——— 今の職場に入って良かったですか。

他の人からは、良い大学を出てどうしてそんなに小さいところで働いているのか、もっと大きなところに転職した方がいいということは何度も言われたのですが、私はここでやりたいことが出来ているので満足です。やりたいことをして生活していけるって、幸せだし素晴らしいことですよね。

職場は当初なんとなく想像していた NGO のイメージとは違い、毎日が忙しくて日本語にも苦労したのですが、慣れるにつれて仕事はどんどん楽しくなっていました。

——— 日本での就職を目指す留学生にアドバイスはありますか。

日本社会の悪いところは我慢しすぎるころだと思うのですが、留学生はそれに合わせる必要はないですね。つらかったら、精神的に追いつ

められる前に辞めるという選択肢があるんだということ覚えておいてほしいです。

仕事をする上では日本語が一番重要で大変なことになるとは思いますが、そこは慣れていかなければなりません。慣れるためにはいつまでも日本人に助けを求めるのではなく、一度教わったことは自分で出来るところまでやってみることです。

間違いを注意されて心が折れてしまう、落ち込んでしまう人はいると思いますが、そこは強くなれないと日本人に付いて行くことはできません。本当に強いメンタルを持たないと、日本で働くことはできないと思います。

——— これからはどんな予定ですか。

まだまだここで働きたいと思っていますが、もしフィリピンに帰っても、今のように国際協力や文化交流の分野で、日本語を使って人の助けになる仕事をしていきたいと思っています。

——— 更なるご活躍を期待しています。



只今工作中

バンコクの泰日工業大学で活躍するスタッフ&先生によるリレーエッセイ

泰日工業大学 (TNI) 奮闘記

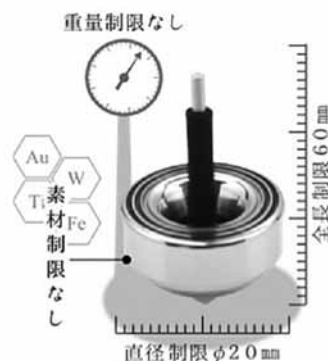
②3 手作り“コマ大戦”パート2

二井田 弘男

私は2016年2月からJICAのボランティアとして、TNI工学部でタイ人教員に日本のモノづくりについてアドバイスをしています。ここでは、前任のボランティアから引き継いだ“コマ大戦”第2回大会について記載します。

まず“コマ大戦”について少し説明します。日本全国の中小製造業の方々が技術を凝らし製作したコマを持ち寄り、専用の土俵上で戦う大会です。右図の様に直径20mm以下の小さなコマを手で回し、相手のコマと一対一で戦わせ、長く回っている方が勝者となります。“ものづくり”の実践と言えます。地方大会から全国大会、国際大会もあり、2014年には、世界大会の予選のバンコク場所が盛大に行われ、その流れ受け、2015年にTNIで学生向けに第1回大会が開催されました。

前回TNI場所を主催した、工学部教員のシリチャイ先生は、「最近、学生が興味を持たなくてね…」と少し元気がない様子。とは言っても、本人は教員室で、日本で買ったコマ大戦用の土俵で、デモンストレーションをして開催に意欲的のようでした。その後、工学部から賞金提供も決まり、2017年1月に大会開催が決まりました。シリチャイ先生に協力を申し出ると、前回協賛して頂いた企業に、土俵の貸与、賞品の提供を依頼してほしいとの事。そこで、私は各企業の方々に、ルールの指導やエキシビション等の協力をお願いし、



TNI 場所の準備は整っていききました。

しかし、“コマ大戦”事前説明会では、学生の参加者は数名程度で、盛り上がり心配でしたが、参加してくれる学生がいる事で安堵していました。その後、数チームの学生がワークショップでコマを製作し始めました。どのように作っている？材料は何？構想は？等を聞きながら、立ち会いました。最初は、危なかしそうでしたが、段々と手際が良くなり、授業の課題製作時には見られない真剣さを感じました。大会が近づくと、製作する学生が増え、夜遅くまで、また、休日も様々なコマを製作していました。その中には、前回の優勝チームの学生も交じって、コマに関する技術論議は熱く広がっていった様子です。

次に、ルールの指導を企業の方にして頂きました。シリチャイ先生や運営委員の学生達が集まり、ルールを聞き、メモを取り、行司



コマ作りに取り組む学生たち



盛り上がる大会の様様

のリハーサルでは歓声が上がり、盛り上がってきた様子でした。

予選会の日、期待以上の30組弱のチームが集まり、普段は渋いシリチャイ先生の顔も満足そう。また、運営委員の学生達も、段取りよく大会運営を進めて、進行役の工学部教員は滑らかな口調で大会を盛り上げていました。タイ人教員のエンターテインメント性には感心させられます。一方、コマを回す学生は真剣そのもの、勝負がつくと周りから歓声が上がり、勝ちチームはVサインをして抱き合っていました。

決勝大会に進み、企業の方々、学長や多くのTNI教員の観戦の中、景品を賭けて勝負が繰り広げられました。予選会以上に緊張感が漂い、コマがうまく回せないチームもありました。後で聞くと、回す時の緊張感は相当なものだそうです。

そして、優勝者が決まった後、バンコク場所の優勝・準優勝企業チーム

のエキシビションが行われました。やはりコマの製作精度や構造、回し方が学生達とは違います。その後、学生達は企業の方を囲み、コマの実物を見て、実際に回し、熱心に教えるを受けていました。企業の方も学生達の質問に丁寧に答えて頂き、学生達は、通常の会社訪問では得られない企業の雰囲気や、“コマ大戦”を通じ、自分の視点で感じ、興味を持ち、貴重な体験になったと思います。

今後も“コマ大戦”を開催し、さらに多くのタイの学生達に“ものづくり”の経験をしてほしいと願っています。



みんなで記念写真（二列目右端が筆者）

二井田弘男（にいだ・ひろお）：前職は自動車メーカーで生産技術と海外生産を担当。定年後、JICA シニアボランティア（指導職種：工作機械）として、2016年2月から、泰日工業大学工学部にて、タイ人の先生方へ工作機械の加工精度に関するアドバイスや、タイ人の先生方と一緒に、タイの日系企業と連携した実践教育講義を実践中。

Events & Festivals

まるごと台湾フェア

6年前に中学生の野球交流から始まった杉並と台湾の交流。その台湾の魅力をまるごと紹介します。第85回アカデミー賞外国語映画賞出品映画「光にふれる」の上映と盲目のピアニスト ホアン・ユシアン^{ひととなえ}のコンサートから女優 一青妙さんの講演、そして台湾料理や特産品の販売など楽しい企画満載のフェアです。

- 日 時 6月10日(土) 10:00～17:00
- 会 場 セシオン杉並(杉並区梅里 1-22-32 東京メトロ「東高円寺」駅徒歩5分)
- 内 容 台湾のグルメ&物産販売(10:30～17:00)／講演(11:00～)「台北以外へ飛び出そう 台湾や宜蘭、花蓮を楽しむ尽くす方法」講師:女優 一青妙、(12:30～)「日本語世代を撮り続けて」講師:映画監督 酒井充子×台湾映画評論家 稲見公仁子／展示&台湾観光紹介／「光にふれる」特別上映会 14:00～17:00(舞台挨拶&ミニコンサート付)前売り500円 当日700円(高校生以下前売り300円 当日500円)
- 主 催 杉並区交流協会(<http://suginami-kouryu.org>)
- 問合せ Tel 03-5378-8833 E-mail info@suginami-kouryu.org

ベトナムフェスティバル2017

2017年はフェスティバル開始から10周年。本年もアオザイや水上人形劇をはじめとするベトナムの伝統芸能、両国で人気が拡大している最新アーティスト、美味しくてヘルシーなベトナム料理の数々、世界遺産や先端リゾート地などの観光分野などベトナム本国から「今のベトナム」を紹介します。

- 日 時 6月10日(土)、11日(日) 10:00～20:00 ※雨天決行
- 会 場 代々木公園イベント広場(JR「原宿」駅徒歩3分)
- 主 催 ベトナムフェスティバル2017実行委員会／駐日ベトナム大使館
- 問合せ E-mail info@vietnamfes.net URL <http://www.vietnamfes.net>

スリランカフェスティバル2017

今年で13回目を迎えるスリランカフェスティバルは日本最大級のスリランカイベントです。本場スリランカ料理を提供するフードブースに加え、ハーブやスパイス、かわいい雑貨を取り扱う物販ブース、アーユルベーダの体験、セイロンティーとスリランカカレーのデモンストレーションの他、迫力あるスリランカ伝統舞踊、音楽など様々なステージイベントもご用意しています。

- 日 時 6月24日(土)、25日(日) 11:00～18:00 ※雨天決行
- 会 場 代々木公園イベント広場(JR「原宿」駅徒歩3分)
- 主 催 在日本スリランカ大使館
- 公式サイト <http://www.srilanka-festival.com>



奨学金情報

※ 奨学金情報は Japan Study Support のホームページよりご覧いただけます (<http://www.jpssp.jp/ja/>)

いわけいぐえいかいしやうがくせい

岩垂育英会奨学生

●**対象**：国立・公立・私立各大学院歯学、歯学総合、歯学総合研究科などの博士課程に在学し、生命科学、特に、歯科基礎医学を研究する者で、学業・人物ともに優秀かつ健康であり、学資の支弁が困難と認められる者。

●**支給期間**：2017年4月～2018年3月

●**給付金額**：月額5万円

●**募集人数**：10名程度

●**応募方法**：在学する大学を通じて申込み

●**応募締切**：6月16日（金）必着

●**実施団体・問合せ先**：一般財団法人岩垂育英会

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-8
大阪大学 大学院歯学研究科 薬理学教室内

TEL：06-6879-2911

<http://www.mcb.dent.kyushu-u.ac.jp/>

lwadare/iwadare.html

イベント情報

2017年度 北海道国際交流のつどい 留学生募集

第39回 国際交流のつどい

期 間：8月17日（木）～8月26日（土）

内 容：北海道のホストタウンにおいて、家庭交流・地域交流・学校交流

定 員：40名／先着順

参加費：フリープラン ¥38,000（航空券別） 羽田プラン ¥80,000（羽田往復航空券付）

ホームステイ：8泊9日

締切り：7月7日（金）

第15回 ファーム体験プログラム 留学生募集

期 間：8月17日（木）～8月22日（火）

ない よう のうぎようたいけん りようたいけん うま で あ たいけん おんせんたいけん
 内 容：ホームステイ、農業体験、エビかご漁体験、馬との出会い体験、温泉体験など

てい いん めい せんちやくじゆん
 定 員：40名／先着順

さん か ひ はねだ はこだて おうふくこうくうけんつき
 参加費：¥82,000（羽田 - 函館 往復航空券付）

にはくみっか
 ホームステイ：2泊3日

しゅさい といあわ さき ほっかいどうこくさいこうりゆう
 主催・問合せ先：北海道国際交流センター Tel 0138-22-0770 E-mail info@hif.or.jp

URL <http://www.hif.or.jp>

MEMBERS

〈会費とご寄附の報告〉

2017年2月

正会員

(1口)

中原 和夫	那覇市
小木曾 建	世田谷区
山海 保	葛飾区
アジア・コミュニティ・センター	
21	文京区
曾根 文子	杉並区
田川 明子	港区
石川 清子	渋谷区
高道 俊彦	富山市
馬杉 栄一	札幌市

ご寄附

高 秉沢／姜英園	横浜市
中原 和夫	那覇市
照井 文隆	市川市
酒井 杏郎	渋谷区
増岡 信男	流山市郡

2017年3月

賛助会員

(1口)

西谷 隆義	土浦市
布施 知子	目黒区

正会員

(2口)

柳瀬修三	バンコク
林 均	横浜市

(1口)

関川 弘司／郁子	千葉市
久保 哲也	北区
野口 明美	三鷹市
白石 勤	千葉市
脇 英親	文京区
坪井 健	横浜市
柏原 きみ	北区
田中 利恵子	東村山市
真弓 忠	渋谷区
濱田 修	松原市
大井 裕子	さいたま市
駒場 一成	大田区
渋谷 寧伸	西宮市
杉本 宏樹	杉並区
泉 憲子	日野市
飯沼 英郎	鎌倉市
国士舘大学	世田谷区

松本 誠一	文京区
堤井 信力	横浜市
中村 尚司	京都市
坂詰 貴司	船橋市
坂本 健	西東京市
鈴木 智	日立市
三本 龍生	江戸川
(公財) 守屋留学生交流協会	

千代田区

高 秉沢／姜英園	横浜市
大野 大平	北区
岩佐 佳英	文京区
東京都市大学	横浜市
大杉 立	つくば市

ご寄附

LEE KONG/LAM CHOK YAK	
	目黒区
周 人英／林 恵冰	堺市
田中 利恵子	東村山市
北 マツ	印旛郡
大塚 ちか子	東久留米市
河合 秀高	横浜市
加倉井 弘行（陳俊銘、朱英萱）	
	豊島区

<新規入会・3月>

正会員（2口）

米田 康三	浦安市
-------	-----

ご入会とご寄付のお願い

当協会は、政府の補助金を受けていない純民間運営の公益法人ですので、財源に限りがあり、皆様方からお送りいただく会費、寄付金は、本協会の活動を支える貴重な財源となっています。何卒ご理解、ご協力をお願い致します。

協会のあらまし

名 称：公益財団法人アジア学生文化協会
ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION
(ASCA)

所在地：東京都文京区本駒込2丁目12番地13号

代表者：理事長 小木曾 友

設 立：1957年（昭和32年）9月18日
故穂積五一氏創設

目 的：日本とアジア諸国の青年学生が共同生活を通じて、人間的和合と学術、文化および経済の交流をはかることにより、アジアの親善と世界の平和に貢献することを目的とする。

◆主な事業◆

- (1) 留学生宿舍の運営
- (2) 留学生日本語コースの運営（進学希望者向けの日本語を中心とする教育）
- (3) 留学生に対する情報提供支援
- (4) アジア語学セミナー
- (5) 帰国留学生のアジア文化会館同窓会、(社)日・タイ経済協力協会、ABK留学生友の会との連携・協力

◆会費（年額）◆

正会員 1口 1万円
賛助会員 1口 5万円
特別会員 1口 10万円

会員には広報誌「アジアの友」が無料配布されます。また、広報誌購入だけを希望される方には、購読料年間3千円（十税）でお送りしています。

当財団に対する寄附金は、所得税、一部自治体の個人住民税、相続税、及び法人税の税制上の優遇措置があります。

2015年度より購読料に別途消費税をご負担いただくことになりました。何卒ご了承下さい。

おかげさまで、当財団は2014年4月1日に公益財団法人に移行しました。これまでご支援いただきました皆様には大変ご迷惑をおかけしておりましたが、これにより会費並びに寄附金は税制上の優遇措置の対象となります。今後とも、皆様のご支援の下、これまでと同様留学生宿舍の運営、留学生への情報提供、同窓会活動等の活動を通じ、アジアの青年の育成と友好親善のために微力を尽くす所存です。引き続き皆様のご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

後 記

元ABK同窓会研修生の40数年ぶり、30数年ぶりの来訪が立て続け3件あった。4月末に来日したインドネシアのMelaniさんは広島の水馬公房と東京の乃村工芸で約1年に亘りインテリアデザインの研修を受け、帰国後ジャカルタの有名私大のトリサクティ大学で教鞭をとっていた。昔も今もエネルギーのあふれる女性だ。今回の来日は、観光プラス昔お世話になったABKと広島の水馬公房及び東京の乃村工芸の元担当者に再会することだ。水馬公房の元担当者は退職して久しく、高齢で昔の記憶が少し怪しくなっていたが、彼女は、どうしても会いたいと、当時の写真を持参して広島を訪れ、ついに30数年ぶりの再会を果たした。乃村工芸の元担当者とは、帰国後も交流があり、最近ではfacebookで繋がっていて互いの近況にも詳しく、親しく会話が弾んでいた。幸い富士山麓で桜も楽しめ、全ての思いを果たし日本を満喫して帰国の途に着いた。

ベトナム、ネパールなど東南アジア諸国で日本への留学がブームとなっているという。確かにABK学園日本語学校でも昨年ベトナムの学生数がトップに躍り出た。2008年に政府が打ち出した「留学生30万人計画」は、当時の14万人から2020年までに30万人に倍増するという計画で、実現に向け2010年に日本語学校生のこれまでの在留資格を「就学」から「留学」に一本化した。また留学生の就労可能時間を週14時間から週28時間に倍増させたことも日本語学校生の増加につながっている。ただし、就労目的の日本語学校生の流入も増えており、社会問題化もしている。日本語学校数は、設立条件の緩和により、7年連続で増加しており、2017年には600校を超え、過去最多を更新しているという。（F）

アジアの友 2017年 4-5月号

2017年5月20日発行（通刊第526号）

年間購読（送料共）3,000円＋税 1部 500円＋税

発行人 小木曾 友
編集 アジアの友編集部
発行所 公益財団法人 アジア学生文化協会
東京都文京区本駒込2-12-13（☎113-8642）
電話番号：03-3946-4121 ファクシミリ：03-3946-7599
振替口座：00150-0-56754 E-mail：tomo@abk.or.jp
ホームページ：(http://www.abk.or.jp/)
published by ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION
(ASIA BUNKA KAIKAN)
2-12-13, Honkomagome, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8642, JAPAN
☎+81-3-3946-4121 ☎+81-3-3946-7599
Email: tomo@abk.or.jp
Home Page: http://www.abk.or.jp/

会員並びにご購読のお申込みはメール・電話または巻末の振替用紙にてお願いいたします。



学校法人 ABK 学館

ABK学館日本語学校

所在地 〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-12

電話番号 +81-3-6912-0756

FAX +81-3-6912-0757

URL <http://abk.ac.jp>

E-mail info@abk.ac.jp



**ABK
COLLEGE**

2013年4月に完成した新校舎

新築3階建校舎。最新の耐震設計です。

- 留学生の絆が作る日本語学校 -

ABK学館日本語学校（英語名称：ABK COLLEGE）は1957年に設立された公益財団法人アジア学生文化協会が寮生活や日本語を学習した留学生、そして多くの関係者のご寄付と献身的な協力により、学校法人による日本語学校として2014年4月に開校しました。当校には姉妹校のABK日本語コース（公益財団法人アジア学生文化協会）もあり各種協力を行います。



授業風景イメージ



寮の一例



ABK日本語コース

ABK COLLEGE

ABK COLLEGE (学校法人ABK学館ABK学館日本語学校)

東京都認可日本語課程(大学院・専門学校・試験・文化体験等)

	4月入学 1年コース	10月入学 1年半コース	4月入学 2年コース
授業時間	860時間	1,290時間	1,720時間
入学検定料		20,000円	
入学金		80,000円	
授業料 (施設・教材費含む)	620,000円	930,000円	1,240,000円

姉妹校 ABK日本語コース(公益財団法人アジア学生文化協会)

文部科学省指定大学進学準備教育課程

	4月入学 1年コース	10月入学 1.5年コース
授業時間	1,086時間	1,586時間
入学検定料		20,000円
入学金	80,000円(大学進学日本語課程) 95,000円(大学進学準備課程)	
授業料 (施設・教材費含む)	720,000円	1,080,000円

所在地 〒113-8542 東京都文京区本駒込2-12-12

電話 +81-3-3546-2171 FAX +81-3-6912-0759

URL <http://abk.ac.jp>

E-mail nihon@abk.ac.jp

